

PRESS RELEASE

EXPO2025関西・大阪万博 お薬フェスティバルのプレイベント 「薬祭 in 神農祭」を開催

体験型 科学実験を通して医薬品産業の魅力を伝えるヘルスケアイベント

医薬化粧品産業労働組合連合会（以下 薬粧連合）は2024年11月22日（金）23日（土）に、EXPO2025関西・大阪万博 お薬フェスティバル（2025年6月30日（月））のプレイベントとなる「薬祭 in 神農祭」を開催しますので、お知らせします。薬粧連合はこれらのイベントを通して、医薬品産業の魅力を社会に発信し、未来を担う科学者の育成、創薬を通じた世界の人々の健康、薬の確実な安定供給に取り組みます。



昨年の同イベントの様子

実施の背景

現在、日本の医薬品産業では、未来の創薬を担う人材の不足、海外で使える薬剤が日本では使うことができないドラッグラグ・ドラッグロス問題、咳止め薬を始めとした様々な薬剤の供給不足など、課題が多く存在しています。これらを改善していくためには、医薬品産業の魅力や実情を社会に発信し、対応を社会全体で検討していく必要があると考えています。薬粧連合はこれらの課題解決のためにアドボカシー活動に力をいれており、今回のイベントもその活動の一環となります

薬祭 in 神農祭

2024年11月22日（金）23日（土）10:00~18:00

出店場所：住友ファーマ 大阪本社 横スペース

ご参考

神農祭

大阪市道修町にある少彦名神社の例大祭。神農祭は「薬祖講」の行事として大阪市無形文化財（民俗行事）に指定されており、毎年11月22日、23日に開催される。「大阪の祭りはえべっさんに始まり神農さんで終わる」と言われるように「とめの祭」とも呼ばれています。神農祭は1822年に大阪でコレラが流行した際、薬種仲間が病除けの薬として「虎頭殺鬼雄黄圓」（ことうさっきうおうえん）という丸薬を作り、「神虎」（張子の虎）の御守と一緒に神前祈願の後施与したことに由来するといわれています。

EXPO2025 関西・大阪万博 お薬フェスティバル

体験型科学実験を通して医薬品産業の魅力を発信することを目的として、関西・大阪万博にてお薬フェスティバルを開催します。「割れないシャボン玉体験」など、子供から大人まで参加できる科学実験体験イベントとなる予定です。

2025年 6月30日（月）EXPO2025関西・大阪万博 特設会場

医薬化粧品産業労働組合連合会（薬粧連合）

医薬品・化粧品産業の労働組合が集まった団体であり、27組織、3万4307人(2024年10月現在)が加盟しています。「世界の人々の健やかでいきいきとした暮らしへの貢献」、「働く人々の幸福の追求」を目指し、産業政策活動、組織強化活動などの活動を行っています。

報道関係の方からのお問い合わせ先

医薬化粧品産業労働組合連合会（薬粧連合）

担当：松尾 仁雄  会社電話番号：03-6661-7617

 メールアドレス：matsuomso@yakusho-rengo.jp



HPはこちら
